

なめがた大使 小林光恵さん 書きおろしエッセイ 五感でキャッチ！なめがた漫遊記 第17回

旧私立北浦三育中学校見学

8月17日（日）10時、貸し切りバスから降りて、旧私立北浦三育中学校の玄関に足を踏み入れた。鹿行生涯学習センターによる、観光マイスターを目指す企画の参加者として。

校内には、市内がロケ地となった映画やテレビドラマ——「ババンババンバンパイア」「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら」「アンメット」「季節のない街」など——の撮影時の台本やポスターなどがずらりと展示され、撮影に使用された体育館には、今後公開される作品の撮影用備品や美術品などが置かれていた。

これらをぐるり見学して頭に浮かんだのは、撮影に関わる大勢の関係者の方たちが、一定期間、ここに集って、それぞれにせっせとあるいは黙々と動き、つとめている様子だ。そして、彼らの頑張りを支えているのは、素晴らしい作品が無事完成すること、そしてヒットすることへの祈りのような気持ちなのではないかな、とも思った。

それはたぶん前夜に、この中学校の生徒の日課を紹介する動画をYouTubeで見て受けた強い印象の影響を受けているのだ。生徒たちは、6時起床で15分後には礼拝室に入り祈り、授業、食事、清掃、部活動などの時間を経た後、1日の終わりにまた祈って

いた。閉校までの51年間、ここは祈りの場だった。

見学を終えてバスに乗り込み、この地を後にする私たちを、行方市の担当者の方々が、流れる汗を拭いながら手を振って見送ってくれた。彼らもまた、この見学のための準備や運営を頑張る支えとなったのは、市民の安全や市の繁栄への祈りだったのではないかしら。

この地は変わらずに祈りの場になっていたのだった。

※北浦三育中学校は1969年に行方市成田に設立された、全寮制でキリスト教主義の私立中学校。2020年に閉校し、現在は撮影場所として多数の映画やテレビ番組に使われている。同校は、千葉県大多喜町に三育学院中等教育学校として移転・開校した。（参照：学校法人三育学院 北浦三育中学校、北浦三育中学校 50周年記念誌 1969・2019・2020）

小林 光恵さん



三育中の後に訪ねた鹿島神宮では、樹齢1300年だという杉のご神木が印象に残った。ものすごい樹高で、その根はどんなふうになっているのか。

行方市出身。つくば市二の宮在住。年々、秋の期間が短くなっている気がします。少しでも長く秋がいてくれますように、と祈るばかりです。

市公式ホームページ内で「行方帰省メシ」連載中。サイトはこちらから▶



地域おこし

協力隊

連載コラム⑬

皆さん、こんにちは。地域おこし協力隊の高木です。

少し前の話になりますが、県立カシマサッカースタジアム（現メルカリスタジアム）で、6月に行われた「ホームタウンデイズ・行方の日」のフアジアーノ岡山戦に合わせて、行方市の特産品販売のお手伝いをしました。スタジアム周辺は、赤いユニフォーム姿のサポーターであふれ、太鼓の音や歌声が響き、にぎやかな雰囲気の中で市のPRができました。

もともと私は、アントラーズ観戦の初心者でしたが、最近ドはまりしてしよっちゅう試合を見に行っています。私が、アントラーズの試合を見に行くようになったきっかけは、4月の通算600勝をかけた試合です。偶然その日に観戦でき、記念すべき勝利を目の当たりにしました。スタジアム全体が沸き上がる瞬間に立ち会えたことで「また行ってみたい！」と思い、少しずつ足を運ぶようになりました。

やはり、勝った試合は気分が良く、負けた日はしょんぼりして帰る——そんな気持ちの揺れも含めて楽しんでい



▲高木 桂子 隊員

【令和7年4月1日～現職】
観光資源の再発見や開発、市の魅力の情報発信、特産品の販売や地域資源を生かしたまちづくりに取り組んでいます。

ます。
アントラーズ観戦のおかげで、週末の過ごし方にちょっとした楽しみが増えました。この市報が出るころは、優勝に向けて、リーグ戦も佳境に入っているのだと思います。またアントラーズの応援に、スタジアムへ足を運びたいと思います。

（次号は、堅田麻理奈が担当します。）



①行方の日の当日はとても暑く、汗だくになりながら物販をしていました！



②



③



④

③ゴールが入った瞬間は、一番テンションが上がります！
④男祭りの日は、いつもと違う雰囲気を楽しめました！